

我が友・原子力 – 放射能の世紀

10/17(土) 13:00～ 黒潮町あかつき館 日本初公開 決定!

① 映画上映 ② 監督・ビキニ原告らとの対談 ★終了後 記者会見を予定



渡辺謙一 監督

「桜前線」2006グルノーブル国際映画芸術賞 / 天皇と軍隊」2009/「ヒロシマの黒い太陽」2011/「フクシマ後の世界」2012/「核の大地・プルトニウム物語」2015/「国家主義の誘惑」2018 ほか

欧州においてヒロシマやフクシマの理解を深める作品制作に取り組む。



(57分) 2020年：ドイツ・フランス公共放送arte / KAMIプロダクション

映画 あらすじ

第1章・放射能雲の中の米軍兵士

福島第一原発事故で、トモダチ作戦に従事する米空母乗組員が証言する。

第2章・死の灰の中の日本漁船

1954年の第五福竜丸以外の、他の多くのマグロ船が被ばくした事実が隠されたわけを当時の日米関係に探る。

第3章・ラジウムガールズ

時計の蛍光塗料としてのラジウムの使用によって工場の女性労働者にガンなどの健康被害が多発した。

第4章・被ばくと沈黙

被爆後の広島と長崎では、放射線研究のため、生き延びた人々をモルモットにした。以後の核実験では米軍兵士がモルモットになった。

第5章・怒りの訴訟

国賠訴訟で闘うビキニ被災者は、原発事故犠牲者も歴史から抹殺される。その危機感を共有する意気で立ち上がった。



★定員 100名 主催・問い合わせ 大平洋核被災支援センター TEL・FAX 0880-66-1763
メール masatoshi.sky@orange.zero.jp または、実行委員に申し込みください。